



1 津労働基準監督署管内における令和元年の労働災害発生状況（別添資料参照）

（1）平成30年と比較して死亡者数については減少しましたが、死傷者数については増加する結果となりました。

（2）津労働基準監督署管内で、令和元年に発生した労働災害の主なポイント

死亡者数は前年から4人減少し3人となった（-57.1%）ものの休業4日以上の死傷者数は3年連続で増加しています。

全産業の死傷者数587人（前年比8人、1.4%増）

業種別では、第三次産業が最も多く265人（前年比5.2%増）、次いで製造業が159人（前年比11.2%増）となっています。建設業は88人（前年比7.4%減）、運輸交通業・貨物取扱業は58人（前年比20.5%減）となりました。

事故の型別では、転倒災害が最も多く159人で全災害の27%を占めています。次いで無理な動作・動作の反動等（腰痛や捻挫等）86人、墜落・転落災害が83人、はさまれ・巻き込まれ72人となっています。

性別ごとに事故の型別の割合をみると、女性の災害のうち転倒によるものが44%を占めています。

起因物別では、仮設物・構築物等が最も多く131人となっています。（起因物とは、災害をもたらすもととなった機械、装置もしくはその他の物、または環境等をいいます。仮設物・構築物等とは、足場や通路、建築物等です。）

年齢別では、60歳以上が157人と最も多く、次いで40代、50代がそれぞれ127人ずつ続きます。

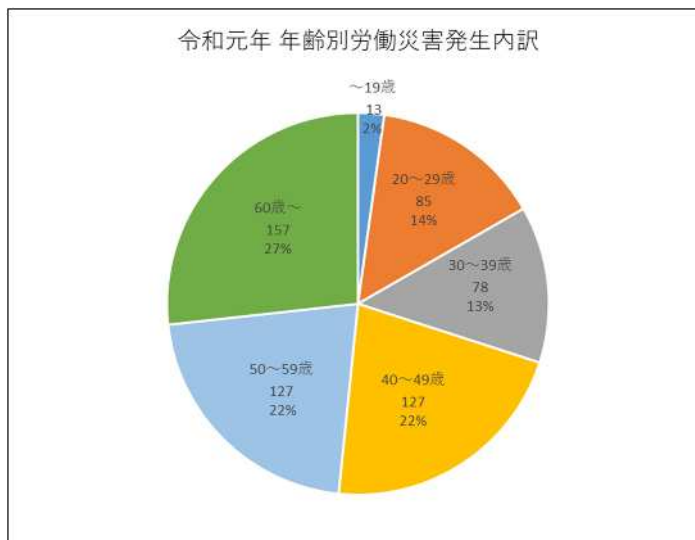
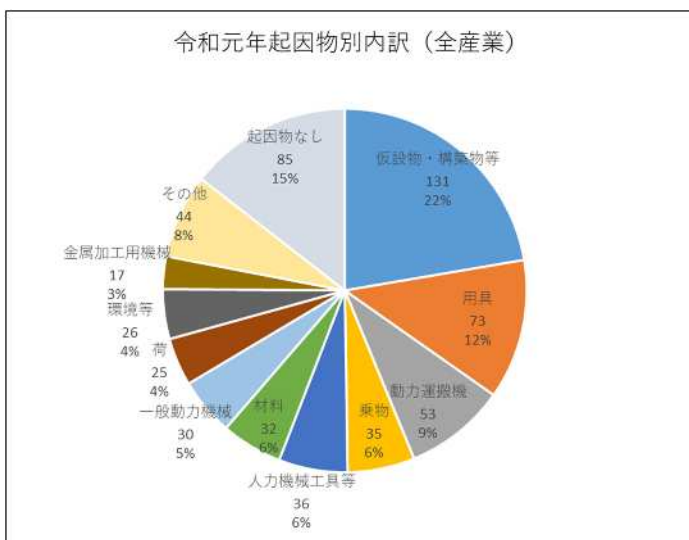
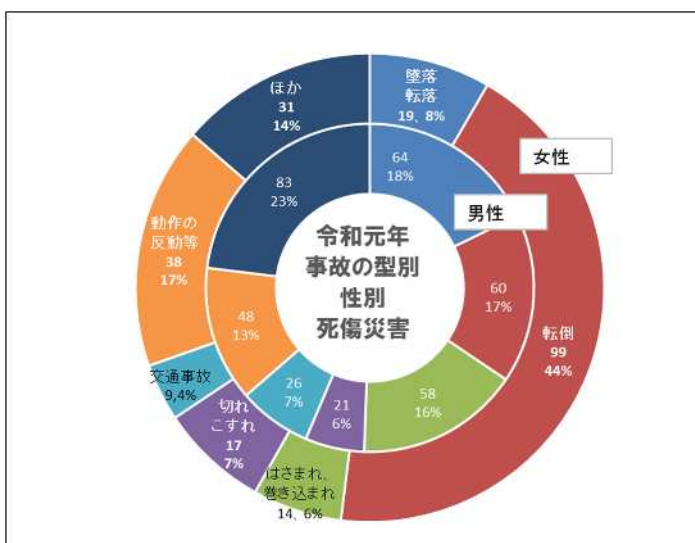
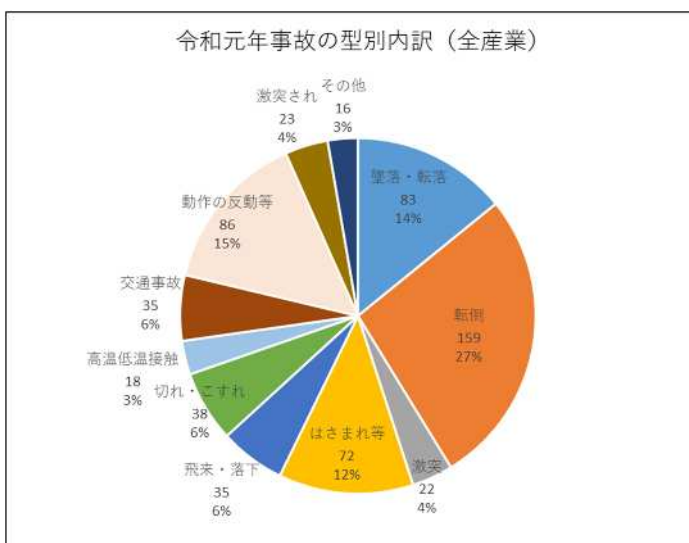
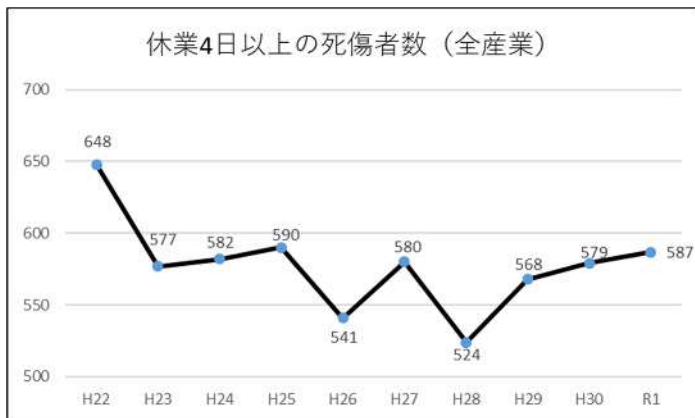
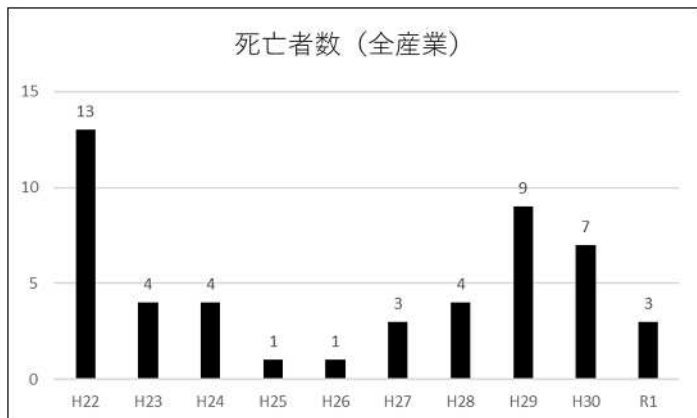
令和元年津労働基準監督署管内（津市・鈴鹿市・亀山市）の労働災害発生状況
（死亡者数及び休業4日以上の死傷者数）

業種	年別	平成30年		令和元年		対前年比			
		死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡		死傷	
						人数	%	人数	%
合計		7	579	3	587	-4人	-57.1%	+8人	+1.4%
製造業	食料品		31		27			-4人	-12.9%
	繊維工業		1		2			+1人	+100.0%
	衣服その他の繊維		1					-1人	-100.0%
	木材・木製品		2		2			±0人	±0.0%
	家具・装備品		2					-2人	-100.0%
	パルプ・紙加工品		1		5			+4人	+400.0%
	印刷・製本				2			+2人	
	化学工業		13		12			-1人	-7.7%
	窯業土石製品	1	6	1	9	±0人	±0.0%	+3人	+50.0%
	鉄鋼業								
	非鉄金属		1		6			+5人	+500.0%
	金属製品		29		27			-2人	-6.9%
	一般機械器具		11		11			±0人	±0.0%
	電気機械器具		8		10			+2人	+25.0%
	建設業	造船業		6		6			±0人
造船業以外の輸送用機械			20		27			+7人	+35.0%
電気・ガス・水道業			1					-1人	-100.0%
自動車整備業・機械修理業			3		5			+2人	+66.7%
上記以外の製造業		1	7		8	-1人	-100.0%	+1人	+14.3%
小計		2	143	1	159	-1人	-50.0%	+16人	+11.2%
採石業									
建設業	上記以外の鉱業		1					-1人	-100.0%
	小計		1					-1人	-100.0%
	土木工事		22	1	24	+1人		+2人	+9.1%
	木造家屋建築工事		19		10			-9人	-47.4%
	上記以外の建築工事	1	39		34	-1人	-100.0%	-5人	-12.8%
その他の建設業	1	15		20	-1人	-100.0%	+5人	+33.3%	
小計	2	95	1	88	-1人	-50.0%	-7人	-7.4%	
運輸交通業・貨物取扱業	道路貨物運送業	1	53	1	50	±0人	±0.0%	-3人	-5.7%
	上記以外の運輸交通業	1	14		2	-1人	-100.0%	-12人	-85.7%
	陸上貨物取扱業		6		6			±0人	±0.0%
	港湾運送業								
	小計	2	73	1	58	-1人	-50.0%	-15人	-20.5%
第一次産業	農業・畜産業		12		14			+2人	+16.7%
	林業		2		3			+1人	+50.0%
	水産業		1					-1人	-100.0%
	小計		15		17			+2人	+13.3%
その他の事業	小売業		47		71			+24人	+51.1%
	新聞販売業		14		15			+1人	+7.1%
	上記以外の商業		12		14			+2人	+16.7%
	通信業		9		10			+1人	+11.1%
	保健衛生業	1	32		41	-1人	-100.0%	+9人	+28.1%
	上記以外の保健衛生		19		11			-8人	-42.1%
	接客娯楽業	2	2		3			+1人	+50.0%
	ゴルフ場		12		6			-6人	-50.0%
	上記以外の接客娯楽業		33		30			-3人	-9.1%
	ビルメンテナンス業		8		12			+4人	+50.0%
	産業廃棄物処理業		14		12			-2人	-14.3%
	上記以外の清掃・と畜業		4		6			+2人	+50.0%
	警備業		8		2			-6人	-75.0%
上記以外		38		32			-6人	-15.8%	
小計	1	252		265	-1人	-100.0%	+13人	+5.2%	

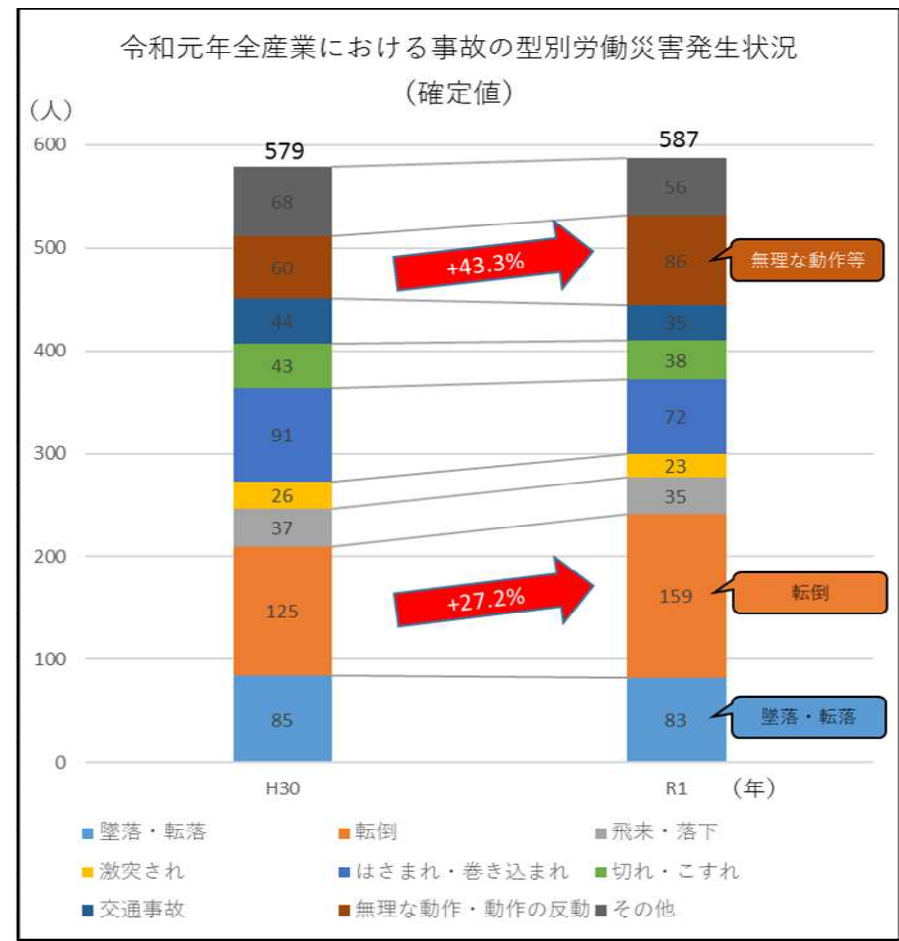
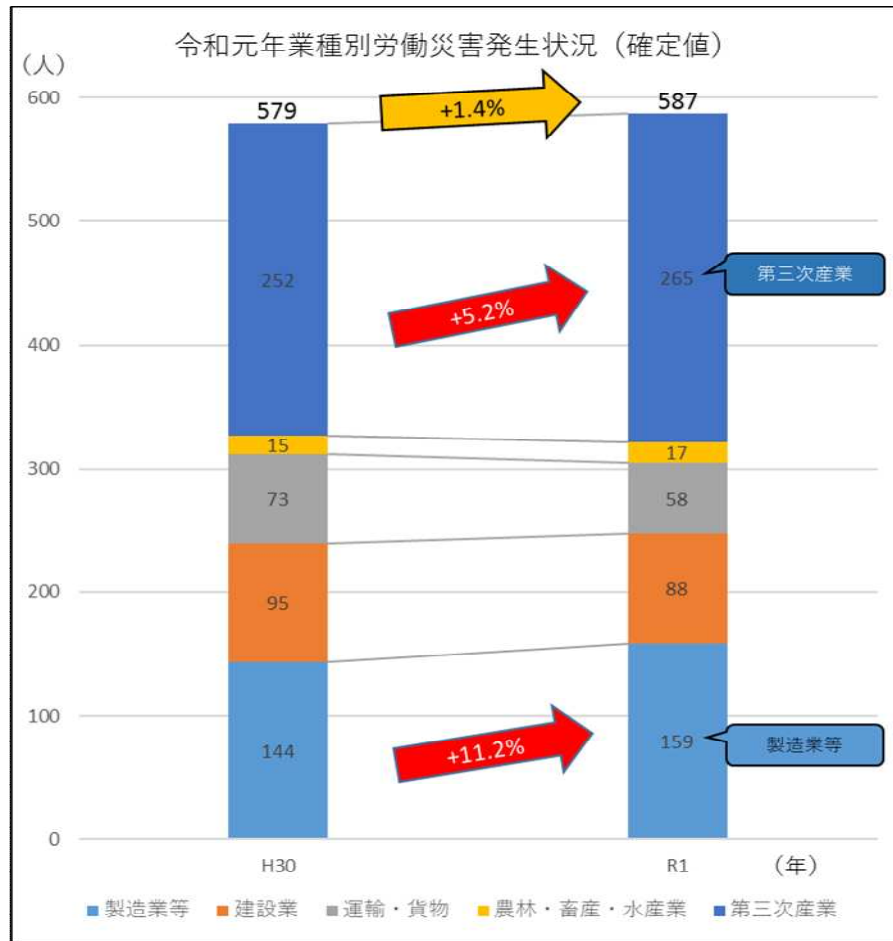
資料出所 津労働基準監督署「死亡災害報告・労働者死傷病報告」

注：死亡者数は内数であらわしたものを。

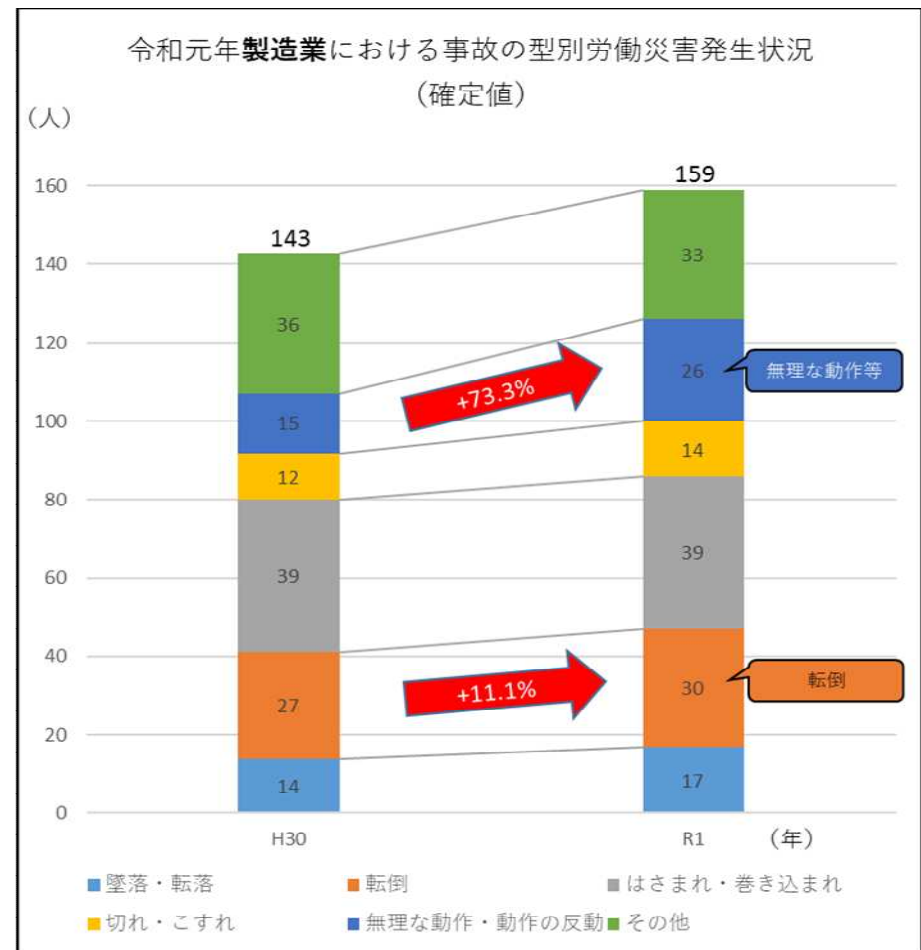
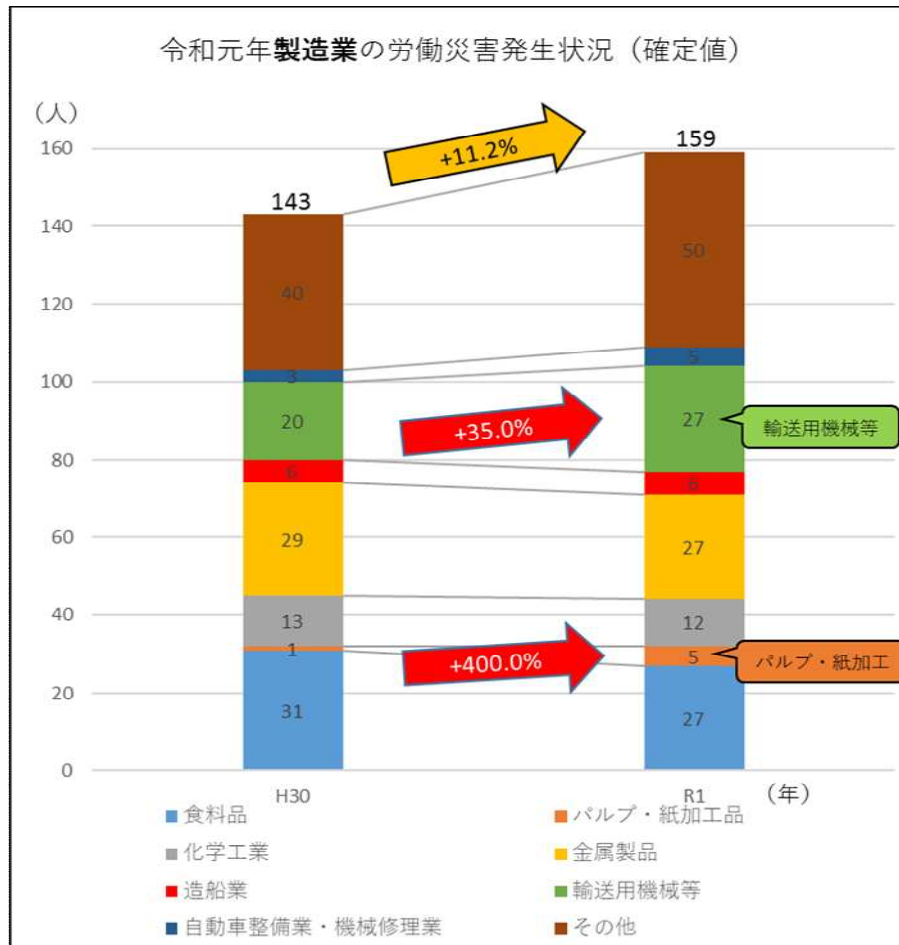
別添資料



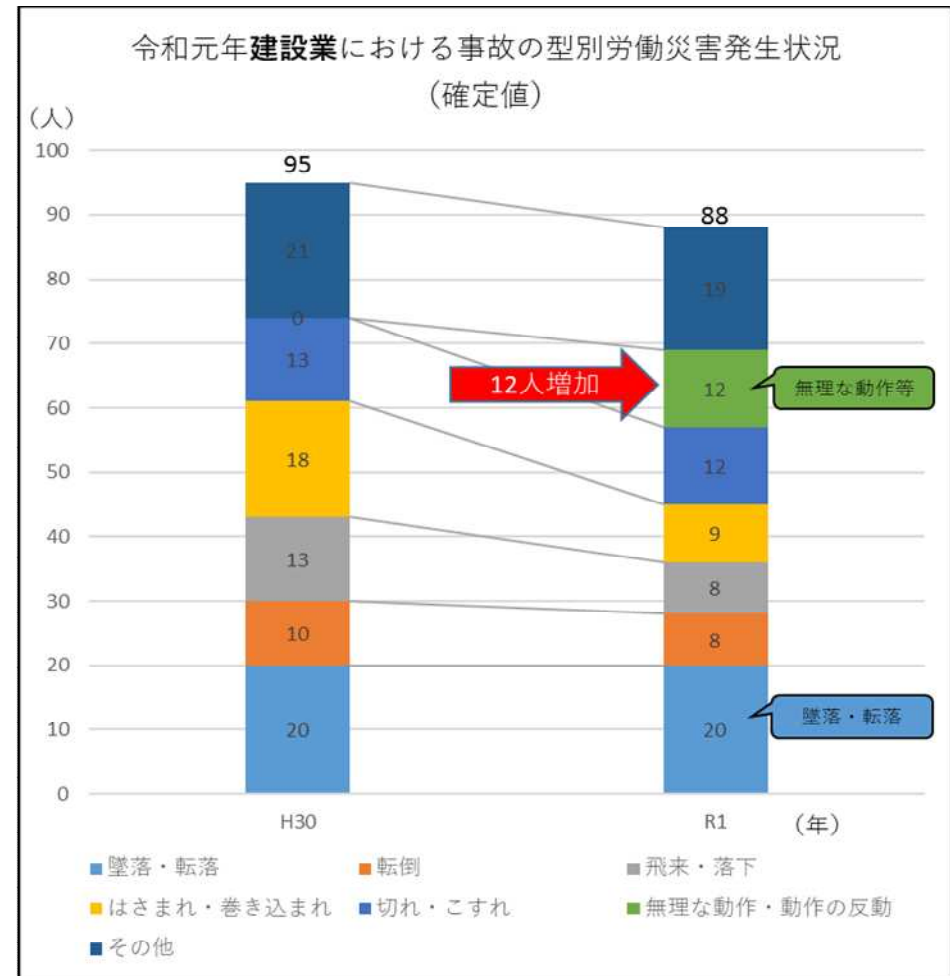
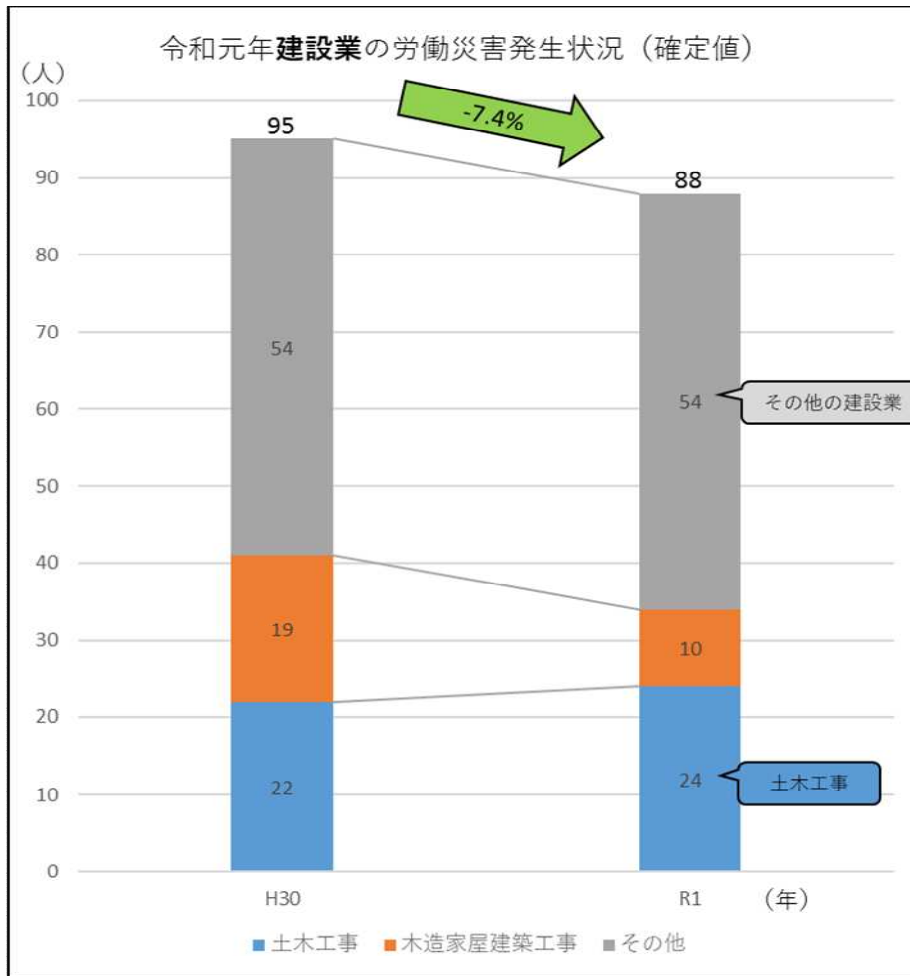
業種別災害発生状況



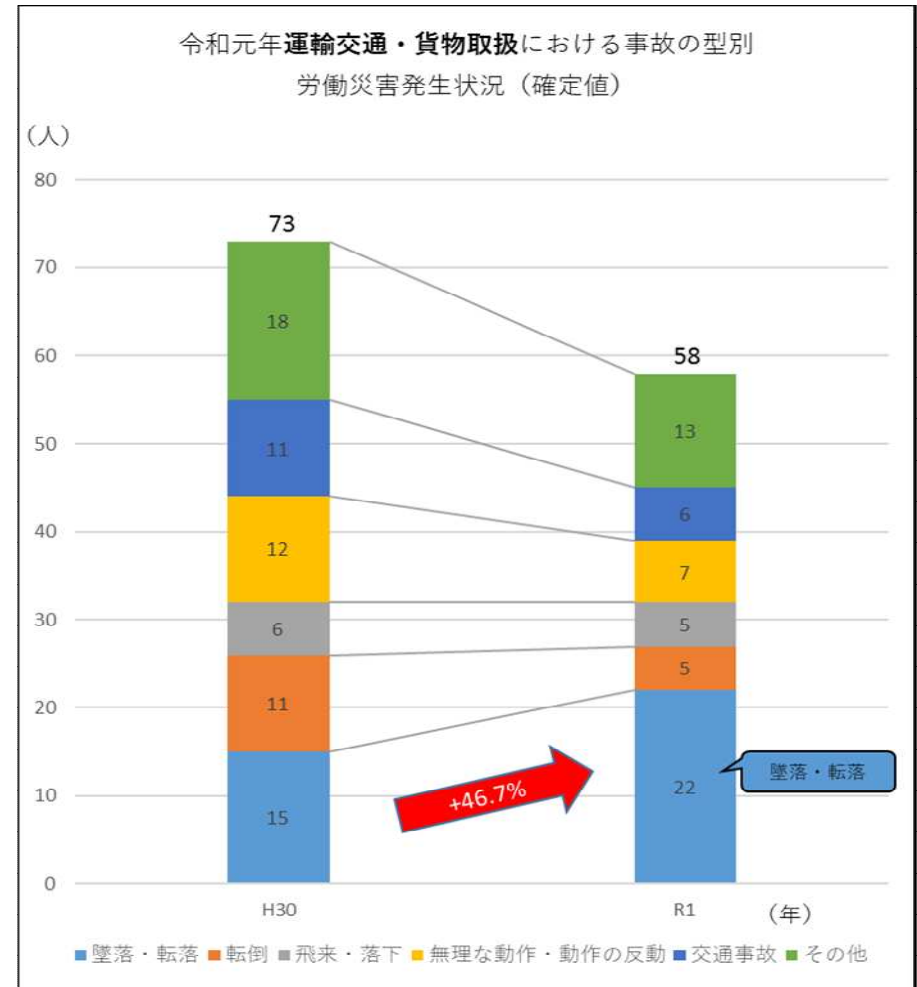
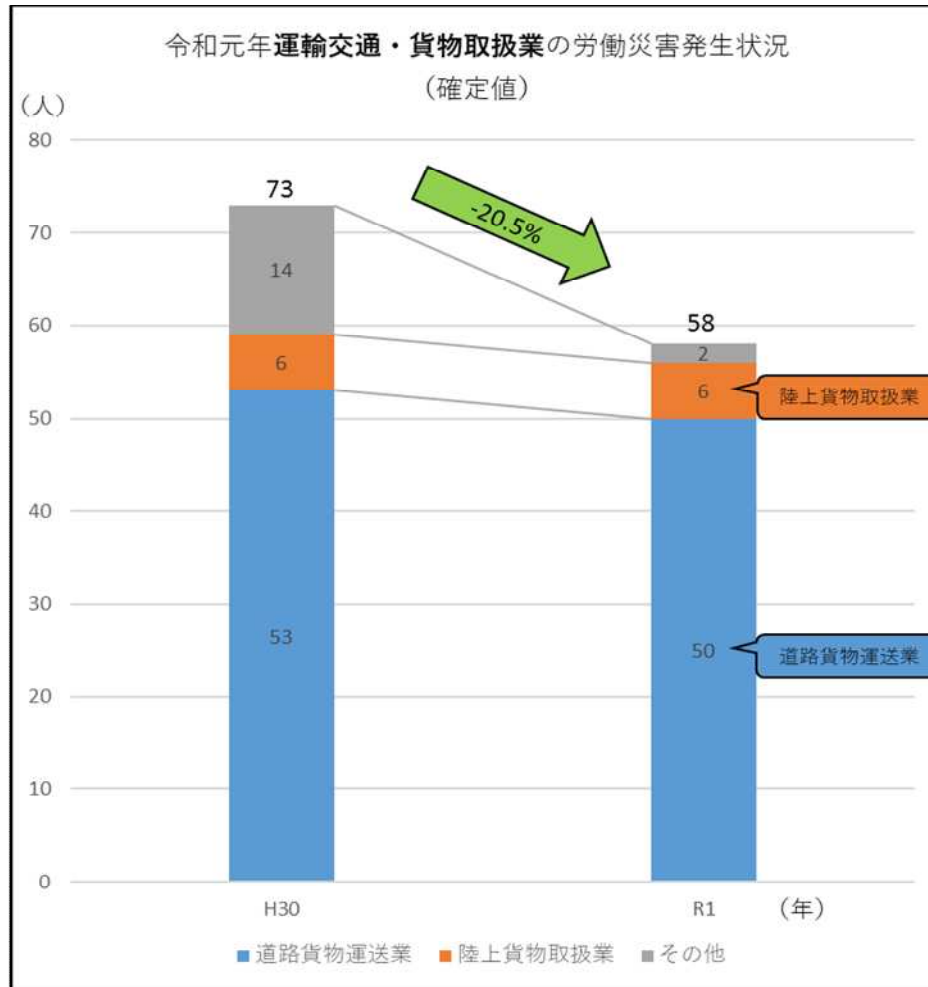
製造業



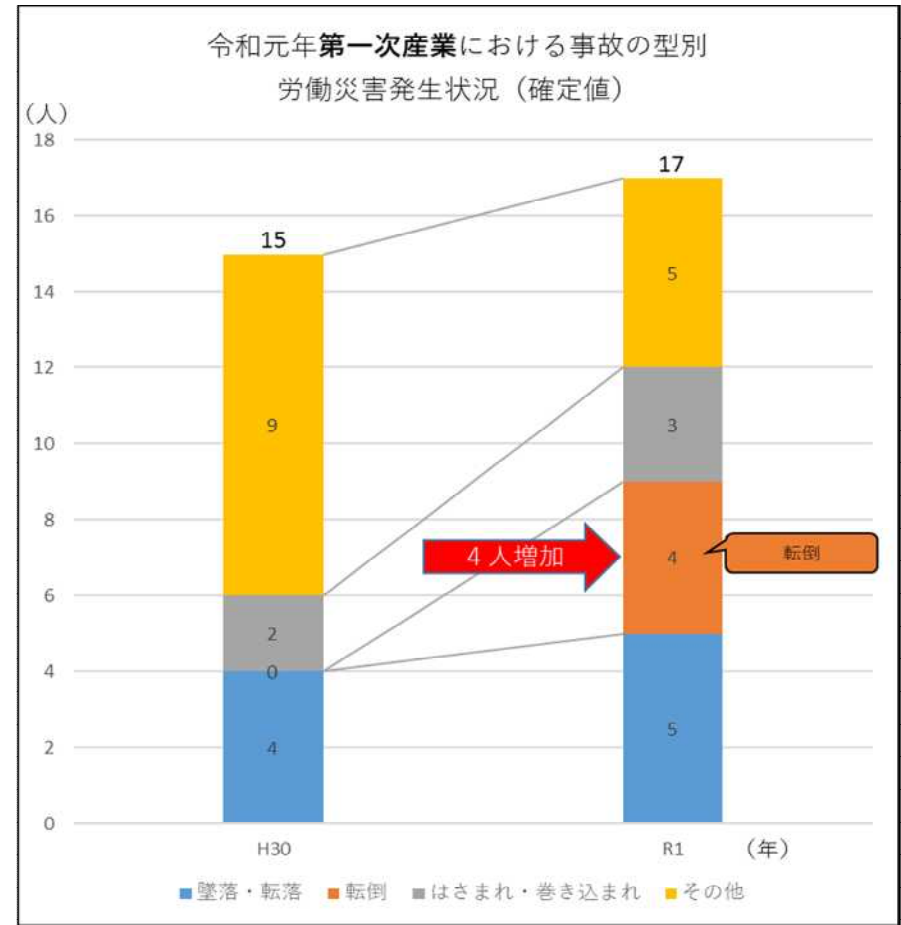
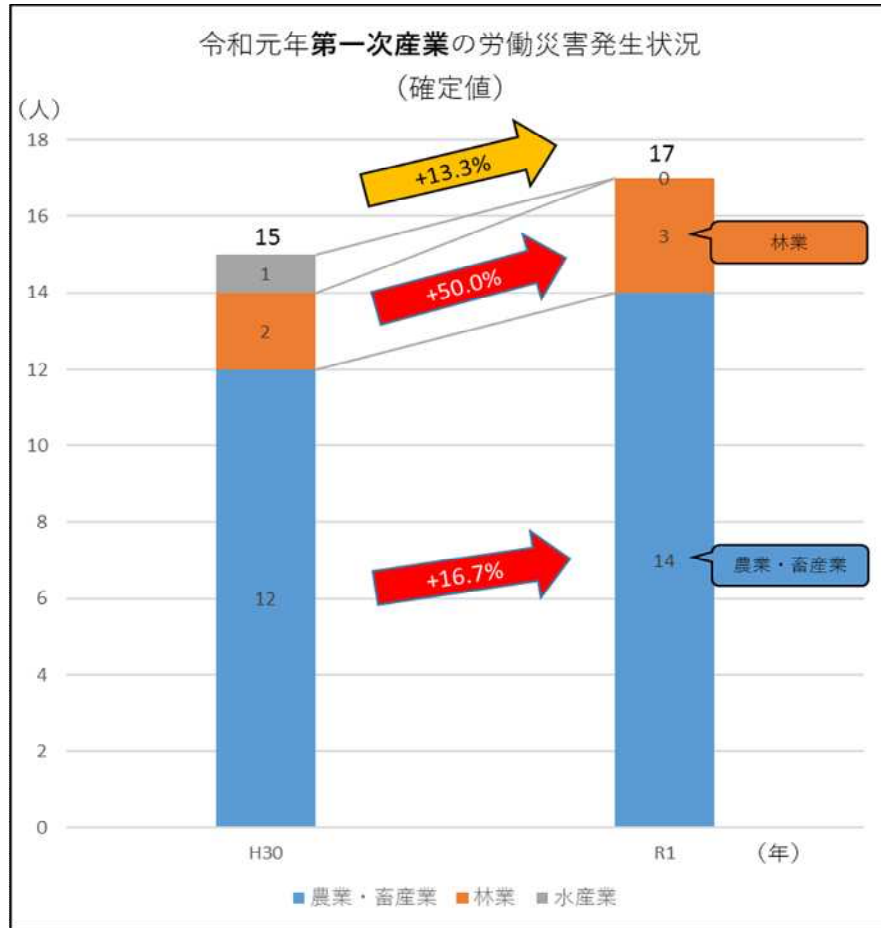
建設業



運輸交通・貨物取扱業の労働災害発生状況



第一次産業



第三次産業

